

事務事業名	単独農地災害復旧事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林災害復興G	課長名 宮川 勝
	施策名	(34)農業の振興		担当者名	高木 洋輔	電話番号:0854-40-1081 (内線) 2404
	目的・対象	市内の農家	意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	農地災害復旧事業
	基本事業	(097)農業基盤の整備・保全	意図 働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。		項目 中事業 中事業名	現年単独農地災害復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災した農地(田、畑)	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H24 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	豪雨災害により、畦畔崩壊などの被災を受けた農地(田・畑)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上か時間雨量が大(時間雨量20mm以上)であることと、1箇所の工事費が13万円以上40万円未満であること。 起債充当率:74%(小災)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) R2災 復旧工事(繰越分)8箇所 R3災 被災箇所確認	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常より引き下げている。(通常:4%→R3災:1.35%、担い手に利用権を設定している農地は0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 施工箇所数(現年)	箇所	0	2	0	未定
イ 施工箇所数(繰越)	箇所	15	3	8	210
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
【繰越(R2災)】8箇所 工事費:2,329千円 【現年(R3災)】発注無し→R4年度以降に発注予定 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	2,700	500	1,700	62,100
		その他	千円	146	73	93	1,134
		一般財源	千円	815	1,679	536	20,766
	事業費計	千円	3,661	2,252	2,329	84,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農地の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R3災分については、R4年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、復旧も複数年度にわたる見込みであるが、近接箇所は一括工事にするなど、早期復旧に向け計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、農家との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。